



女性会だより
 白山商工会議所女性会 第六八号

**第十六回石川県商工会議所
 女性会連合会会員大会 白山市にて開催**

七月四日（月）グラウンドホテル白山にて石川県商工会議所女性会連合会会員大会が開催されました。県内女性会から百六十二名、当女性会から四十三名が参加しました。

白山商工会議所女性会池元ことみ会長の開会の辞に始まり、商工会議所女性会活動指針を全員で唱和し、県女性会連合会木下八重子会長が挨拶に立ちました。

来賓の谷本正憲県知事、山田憲昭白山市長の祝辞に

続き、白山商工会議所高松喜与志会頭からは「政府の掲げる一億総活躍時代には女性の活躍が必要です。そして女性が生きていき生きと活躍する元気な地域にこそ調和のとれた男女共同参



画社会が実現します」と祝辞をいただきました。

その後平成二十七年事業報告ならびに収支決算、平成二十八年事業計画案並びに収支予算案が報告され大会は終了しました。

記念講演会・企業見学会

会員大会終了後、焱太鼓奏者の地下朱美氏による『太鼓とわたし』と題しての記念講演会が開催されました。地下氏は三十年前、和太鼓と巡り合い、太鼓の鼓動は心臓の音そのもので、触れた瞬間から大きな衝撃を受けたそうです。しかし勇壮な虫送り太鼓や大太鼓は男性中心の世界で、「女だてらに…」と言われ悔しい思いをしながらも地下氏は太鼓に魅了されていきます。

「出る杭は打たれる」そのものであった地下氏は「負けたまるか」の一言が心の支えだったそうです。

その後世界的デザイナー山本寛斎氏との出会いが世界進出のきっかけとなりました。「フリはいらない、心で打て！」と今までの声を張り上げながらの奏法を変えらることにしました。どれだけたたいでも大丈夫な身体にならないければ世界には通じない。心身共に鍛えあげた女性三人組による「焱太鼓」は世界中を飛び回るほどにまでなりました。「飽きっぱ



い私が続けることができた太鼓はかつこいい。でも難しい——」。そう話される地下氏の笑顔は眩しく素敵でした。これからも力強くしなやかな演奏で私たちに勇気と希望の鼓動を届けてくれることでしょう。

企業見学会では、高松機械工業株式会社様の協力をいただきました。同社は工作機械の製造販売・メンテナンスをおこなっており、主力製品は自動車の部品を加工する為に使われる「CNC旋盤」です。見学会では、製造工場らしく、安全性に配慮をした見学説明と企業紹介をしてくださいました。革新的な工作機械の開発は内外から高い関心を集めています。

工場内は物品の管理が徹底しており、常に清潔で安

全性と集中力が求められる作業現場であると感じました。また、広くクリーンな工場内部には会議スペースや観葉植物による社内の環境づくりは、女性見学者の熱い視線を集めていました。高松機械工業の皆様ありがとうございました。

ペットボトルキャップ収集にご協力 いただきありがとうございます

今回も多くのキャップが集まりました
今後も引き続きご協力お願いします

H28 年度 4 月～9 月回収量

重量： 96.9Kg

個数： 41,667 個

(ポリオワクチン 8.5 人分相当)



第四八回全国商工会議所
女性会連合会 徳島総会

九月二十八日（水）から三十日（木）までの三日間、全国商工会議所女性会連合会徳島総会がアステイトくしまで開催されました。当女性会からは四名が参加、全国から三百二十四会議所女性会の約二千四百名が集



いました。

徳島商工会議所女性会連合会中村秀美会長の挨拶の中で、「四国八十八カ所霊場と遍路道」といった遍路文化の世界遺産化に向け

た女性会連合会の取り組みの紹介がありました。つづいて企業家大賞と連合会表彰式が行なわれました。

記念講演会では、昭和女子大学理事長の坂東眞理子氏の『女性経営―新しいビジネスの地平を拓く―』

でした。「地方で活躍する女性達へ更なる躍進を願うとともに、共感と協力で支え合いを強化して、商工会議所や役所といった地域の多様な主体と連携を強めることが、日本経済全体に持続的な成長と成功をもたらすのではないか」と講演されました。

アトラクションでは、阿波人形浄瑠璃の巡礼歌に胸をうたれ、阿波踊り各流派「神の二拍子」の披露に会場は魅了され、ジャズ演奏も加わりステージは溢れん

ばかりの踊る人の輪、会場も歓声に湧きました。

懇親会で隣席した北海道女性会の皆様より「昨年の石川全国大会も素晴らしかった。感動しました。」とお褒めの言葉をいただきました。来年の全国大会は十月、北海道で開催されます。

元気で明るく働きの阿波の女性達の活気あふれる地で、全国の女性会の皆様と交流を深める貴重な体験となりました。この学びを今後の仕事や女性会活動に活かしていきたいと思いません。

視察研修会

十月十八日（火）に滋賀県近江八幡方面で視察研修を開催し二十七名が参加しました。

最初に訪れたのは佐川美

術館です。到着後、驚いたのはその外観です。水面に浮かんだ二棟の建物は広く開放的な空間にマッチし、おしゃれでモダンなデザインの美術館そのものがまるで芸術作品のようでした。



中の展示室も全体的にゆったりしていて時間が経つのも忘れてしまいました。佐川美術館は「茶室」が有名です。床の高さは水庭の水面と同じ高さになっています。これは「水面と同じ

高さに座す。人は自然と同じレベル、目線で生きていかなければならない」との思いが込められているそうです。

次に訪れたのは「近江八幡」。小高い山が点在しており琵琶湖近くで自然が豊かです。また、寺院、城跡など歴史的建造物も多く、近江商人発祥の地でもある魅力あふれる街です。

建ち並ぶ商家には隣家と接する屋根の壁を少し持ち上げ独立した小屋根を乗せたものが見受けられます。これを「うだつ」と呼びます。本来は連続して建てられている町屋が火事の際に燃え移るのを防ぐ為の防火壁でしたが、江戸中期には装飾を施し、自己の財力を誇示するための手段となりました。この「うだつ」を

つくるためにはかなりの出費が必要だったそうで裕福な家のしるしとなっていました。これが「うだつが上がない」の由来だそうです。

そして、もうひとつ特徴的なのが「見越しの松」です。堀際に植えられている立派な松のことで外から見えるように、また外を見下ろす

ような形になつていまいます。この松には将来を見通すという意味もあるそうで、この通り沿いの風情を高めてくれます。



また周辺は数々のドラマや映画のロケ地にも使用されているようで、何だか初めてじゃないような懐かしさを感じてしまいました。

時間があれば屋形船に乗り、川面の風を感じながら江戸情緒を体感したいものです。

最後にラコリーナ近江八幡を訪れました。ラコリーナとはイタリア語で丘という意味です。屋根一面が芝に覆われたメインショップの中に入ると甘い香りに包まれていました。栗の木をふんだんに使った建物は、吹き抜けの空間がとても開放的です。

「農は芸術」。自然に学び、自然を感じ、新しい価値を見い出し、活気溢れる場所を提供し続ける事が目標だそうです。

今回の研修では楽しく学

平成二十八年十二月二十二日発行

びながら会員同士の親交を深めることが出来ました。また、自然豊かで歴史的な近江に魅了され近江ブランドの誇りを感じました。



第二十六回 白山商工会議所会員大会

十一月二十八日(月)、グランドホテル白山で白山商工会議所の会員大会が開催されました。式典に続いて『日本経済の嘘と真実』と題して経世論研究所所長の三橋貴明氏の記念講演会が行なわれました。「世を経め、民を濟う」政府の手段と目的を説く三橋氏の講演に日本経済の強みと課題を考えさせられる内容でした。

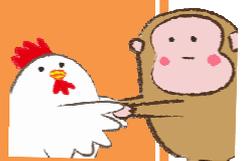
続いて、交流パーティーでは日頃なかなか接する機会のない会員の方々とも交流することができ、女性会だけでは知りえない組織のマネーや仕組みを知る機会となりました。メンバーとして共感し、支え合う学びの場となりました。

白山商工会議所女性会

新年会のご案内

日時:平成29年2月3日(金)
18時30分~
場所:かつ新
(相木町 151-1)

※詳細は同封のチラシをご覧ください



本年も当女性会に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます
来年も変わらぬご愛顧をくださいますようお願い申し上げます
皆様、良いお年をお迎えください



TEL 二七六一三八二一
FAX 二七六一三八二二